様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第１・２・３学年 歴史的分野	歴史・732	社会科　中学生の歴史
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 　身近な地域の歴史について小学校で学習した歴史上の人物や遺跡・遺物、行事・風習等のテーマを設定し調査したり、調査結果をまとめて発表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 　世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化の様子をまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 　鎌倉時代と奈良時代の人々の生活を比較して共通点や違いについて整理したり、室町文化や当時の習慣の中で現在でも身近なものをまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 　織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、化政文化の特色を幕末に文字を読める人の割合から説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 　ペリー来航以後に、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後に国際連盟が強い力をもてなかった理由を説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 　高度経済成長によって現れてきた問題について説明したり、現代の時代の特色や冷戦終結による国際社会の変化について説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　「学習をふりかえろう」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「歴史のとらえ方」は11ページ「古代までの日本」は38ページ、「中世の日本」は36ページ、「近世の日本」は52ページ、「近代の日本と・世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は28ページであり、総ページ数は263ページで、前回より約5%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「アイヌオムシャ」の図版を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵の出身地」の資料を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「技能をみがく」において、レポートのまとめ方や発表の仕方を提示したり、「資料活用」において、資料を読み解く課題を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、朝鮮、中国の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「日本各地の伝統行事と祭り」、巻末に「日本地図の歴史」等を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、読み取りやすい活字にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 31 箇所、北方領土について 6 ページが取り上げられている。 ○　「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設置し、生徒だけで予習や復習ができるよう配慮されている。 ○　模様などを入れることを抑え、配色のみで色が区別できるようにしたり、折れ線グラフの線を太くしたりするなど、全ての生徒が読み取りやすくなるよう配慮されている。			